

(2)地域における理解促進に向けた取組について

地域連絡協議会の開催

①協議会の趣旨

地域住民に、感染症研究拠点整備に関する検討状況に関して情報提供を行うとともに、地域住民の安全・安心の確保等について協議をするため、長崎県・長崎市・長崎大学による協議会のもとに地域連絡協議会※1を設置。(平成28年度)

令和5年度からは、施設の竣工を受けこれまでの情報提供及び安全・安心の確保等についての協議から、施設の運用状況や安全対策及び災害対策等についての情報共有及び協議を行う場として、新たな協議会※2にリニューアル。

※1「長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会」(平成28～令和4年度)

※2「長崎大学高度感染症研究センター実験棟の運用に関する地域連絡協議会」(令和5年度～)

②新たな地域連絡協議会の構成員(令和5年4月時点:23名)

1. 近隣連合自治会長・自治会長(8名)

- ・坂本校区連合自治会長、坂本町道上自治会長
- ・高尾校区連合自治会長
- ・山里地区連合自治会長
- ・江平自治会長
- ・平野町山里自治会長
- ・平和町自治会長
- ・本尾町自治会長
- ・山里中央自治会長

2. その他地域住民等(2名)

- ・前公募委員

3. 学識経験者・専門家(3名)

- ・長崎大学病院感染制御教育センター一長
- ・長崎県医師会常任理事
- ・弁護士 ○

4. 行政(5名)

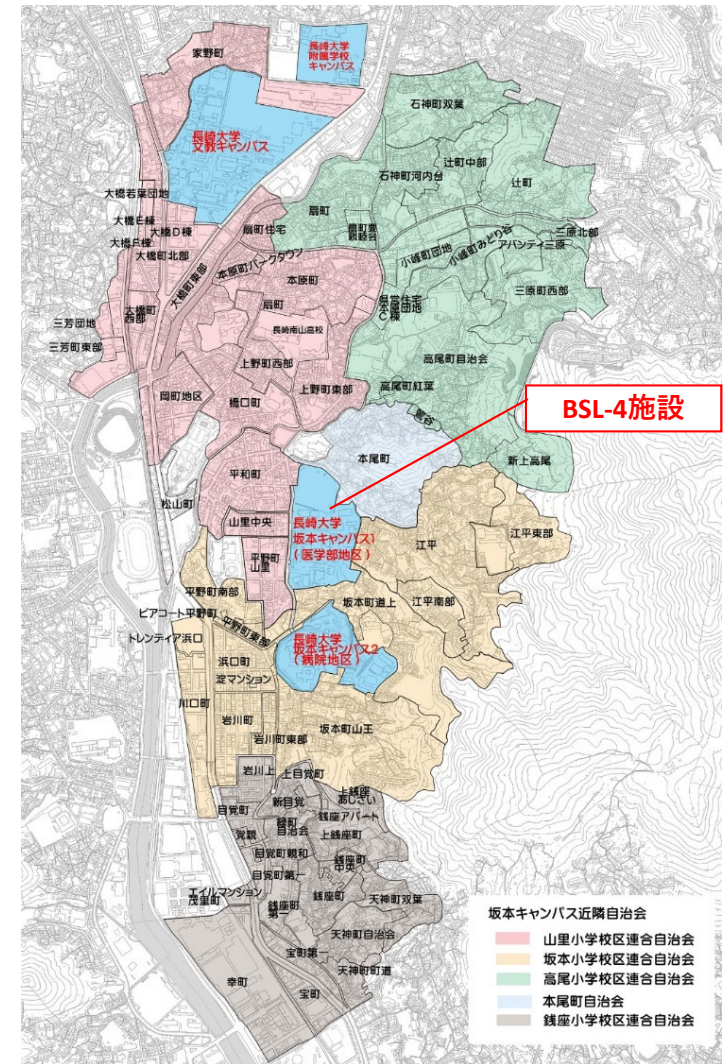
- ・長崎県福祉保健部感染症対策室長
- ・長崎市市民健康部地域保健課長
- ・長崎市防災危機管理室長
- ・長崎市消防局警防課長
- ・長崎市北消防署警防1課 課長補佐

5. 長崎大学(5名)

- ・森内 浩幸 ◎ 高度感染症研究センター・副センター長
- ・安田 二郎 高度感染症研究センター・副センター長
- ・南保 明日香 高度感染症研究センター・教授
- ・中嶋 建介 高度感染症研究センター・教授
- ・渡部 康一 高度感染症研究センター・教授

(◎は議長、○は副議長)

坂本キャンパス周辺の連合自治会・自治会



③ 令和4年度までの開催実績【平成28年度から令和4年度まで44回開催】

| 開催日 | 回数 | 主な議題 |
|-----------|------|--|
| H28年5月12日 | 第1回 | BSL-4施設設置計画 |
| 6月2日 | 第2回 | ウイルスの特徴、立地の地価等 |
| 6月30日 | 第3回 | 施設の安全対策、施設のリスク対策等 |
| 7月13日 | 第4回 | 国の関与、立地の安全性等 |
| 8月3日 | 第5回 | 委員からの質問・意見 |
| 8月31日 | 第6回 | 委員からの質問・意見 |
| 9月9日 | | 国立感染症研究所の視察 |
| 9月27日 | 第7回 | 委員からの質問・意見 |
| 12月25日 | 第8回 | 委員からの質問・意見への回答 |
| H29年2月17日 | 第9回 | 基本構想、熱研における病原体の安全管理状況、委員からの質問・意見への回答 |
| 5月23日 | 第10回 | 基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答 |
| 7月4日 | 第11回 | 基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答 |
| 8月22日 | 第12回 | 基本構想とりまとめ、委員からの質問・意見への回答 |
| 12月20日 | 第13回 | 基本構想、諸外国のBSL-4施設、安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答 |
| H30年2月9日 | 第14回 | 基本構想の印刷・配付、委員からの意見書、委員からの質問・意見への回答、平成30年度予算政府原案、安全確保上考慮すべき事象 |
| 3月18日 | 第15回 | 前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答、安全確保上考慮すべき事象 |
| 5月8日 | 第16回 | 安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答 |
| 6月29日 | 第17回 | BSL-4施設の設計概要、前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答 |
| 7月20日 | 第18回 | 委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントに基づく対応、建設までの主な工程 |
| 8月10日 | 第19回 | 委員からの質問・意見への回答 |
| 9月28日 | 第20回 | BSL-3実験室からの排気検査結果、リスクアセスメントに基づく対応、緊急時の対応、委員からの質問・意見への回答 |
| 10月26日 | 第21回 | 第20回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答 |
| 11月14日 | 第22回 | 今後のスケジュール・委員からの質問・意見への回答 |
| 12月19日 | 第23回 | 委員からの質問・意見への回答 |
| H31年2月6日 | 第24回 | 今後のスケジュール、平成31年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答 |
| R元年5月14日 | 第25回 | 今後の審議事項、建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答 |
| 7月17日 | 第26回 | 建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答 |
| 9月27日 | 第27回 | 建設工事の状況、地域説明の予定、監理委員会や予算要求の状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則の検討 |

| 開催日 | 回数 | 主な議題 |
|-----------|------|---|
| R元年11月19日 | 第28回 | 建設工事の状況、説明会等の実施状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則・教育訓練 |
| R2年2月7日 | 第29回 | 建設工事の状況、地域連絡協議会の報告会、令和2年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答 |
| 8月21日 | 第30回 | 建設工事の状況、令和元年度予算の執行状況、監理委員会報告、研究棟の建設計画、委員からの質問・意見への回答 |
| 8月25日 | 第31回 | 委員からの質問・意見への回答 |
| 10月14日 | 第32回 | 建設工事の状況、令和3年度概算要求、ロードマップ2020の採択、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応①(陽圧防護服) |
| 12月18日 | 第33回 | 建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応②(実験者の管理、実験内容の確認及び地域への伝達) |
| R3年2月12日 | 第34回 | 建設工事の状況、令和3年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③(廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理) |
| 3月17日 | 第35回 | 建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③(廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理) |
| 5月31日 | 第36回 | 研究棟建設工事の状況、令和2年度予算の執行状況、監理委員会報告、委員からの質問・意見への回答、施設設備の維持管理及び緊急事態への対応 |
| 6月2日 | 第37回 | 実験棟視察の事前説明、実験棟視察、質疑応答 |
| 7月19日 | 第38回 | 研究棟建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答 |
| 10月26日 | 第39回 | 研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答 |
| R4年3月23日 | 第40回 | 研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答 |
| 6月28日 | 第41回 | 監理委員会報告、令和3年度予算の執行状況、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、伝達を行う目安、委員からの質問・意見への回答 |
| 9月27日 | 第42回 | 感染症研究出島特区・高度感染症研究センター出航式の開催、伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項(実験棟の安全管理規則案)、委員からの質問・意見への回答 |
| 12月20日 | 第43回 | 地域への情報伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項(実験棟の病原体等取扱安全管理基準案)、委員からの質問・意見への回答 |
| R5年2月15日 | 第44回 | 安全管理に向けた施設運用に関する事項、委員からの質問・意見への回答、新たな地域連絡協議会への移行 |

④ 新たな地域連絡協議会の開催状況【令和5年度3回開催】

○令和5年7月24日 第1回

【議題: 新たな地域連絡協議会、高度感染症研究センター実験棟に関する報告、監理委員会報告、長崎市地域防災計画】

| 大学等からの報告等 | 委員からの主な質問・意見 |
|--|--|
| <p>＜BSL-4実験棟の運用に係る検証＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2カ月程度の実験停止期間を設けて定期点検を行うことにしており、この定期点検を安全かつ確実に実施するための体制構築や手順等について、実験室の試験的運用を進めながら検証を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・停電回避のための各2系統の通常電源、無停電装置、自家発電装置の切り替えて切れ目のない多重の安全確保が図られてることが分かったが、さらにそれらに不具合が生じたときには専門業者等による対応が必要になると思われるので、それについても検討を進めてほしい。 |
| <p>＜教育訓練の実施＞</p> <p>①体調管理表による入室前の体調確認、②グローブ装着とスーツ完全性確認、③スーツエアホース接続訓練を反復して実施している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・スーツ着用下での実験は相当なストレスがかかると思われるので、精神的な不調についても確認できる体制としてほしい。 |
| <p>＜長崎市及び消防署との連携(消防訓練)＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎市消防局と北消防署の指導の下に2回の消防訓練を行った。 ①災害事故発生時の対応の検討及び消防訓練の実施(令和5年3月) ②実験棟における火災発生を想定した消防訓練等を実施(令和5年6月) | <ul style="list-style-type: none"> ・BSL-4施設は特殊な施設であり、実際に火事が起きた場合のことを想定し、実際に消火する隊員も含めて、消防と大学と一緒に研修会等を行うことを考えてほしい。 |
| <p>＜災害発生時における対応マニュアルの作成＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、制定のための学内手続中の安全管理規則等を踏まえ、災害事故対応に特化したマニュアルを厚労省のガイドラインや感染研のマニュアルを参照しながら、長崎市、消防署等と連携して作成を進めている。 | |
| <p>＜長崎市の地域防災計画＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の見直しの方針として、病原体などによる生物災害等の対策について整理し、地域防災計画で定める大規模事故対策計画の掲載内容等について検討を進めることとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民にとっては 行政機関が係わって地域の安全を守ることに関心がある。実験棟運用開始までにしっかりと対応してもらいたい。スケジュールを意識して進めてほしい。 |

○令和5年10月17日 第2回

【議題: 高度感染症研究センター実験棟に関する報告、長崎市地域防災計画、他機関での事象紹介】

| 大学等からの報告等 | 委員からの主な質問・意見 |
|--|---|
| <p>＜新学長からの挨拶＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BSL-4施設の運用には安全管理、災害対策が重要であると考えている。 ・本学が軍事に用いられる研究は行わないことを宣言した「学長宣言」を堅持する。 ・引き続き、本協議会でご意見をいただきながら、地域の皆様の安心を得られるような施設にしていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学運営の中で、この施設が大きな地位を占めていると感じた。今後も同じような形で継続することを望んでいる。 ・軍事的な研究はしないという長崎大学長宣言が、学長が代わっても変わらないとの話を聞いて安心した。 |

| 大学等からの報告等 | 委員からの主な質問・意見 |
|--|---|
| <p><警備に係る対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月からこれまでの監視カメラ、赤外線センサー等による機械警備に加え、警備員が24時間365日常駐する警備体制を開始した。また、警備体制の検証と訓練を進めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々に対応されていると思うが、さらに厳しい対応をしていただければと思う。 |
| <p><教育訓練の実施></p> <p>①実験室入室時の室内設備確認、②病原体取扱いを想定した訓練、③実験機器を用いた訓練を反復して実施している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・陽圧防護服の視野が広くなり、ストレスが少なくなるようなモデルに改良されていることが分かった。 |
| <p><病原体等の盗取等の事故に備えた検討状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県警察本部及び浦上署の担当者と現場を確認しながら打合せを行い(令和5年6月)、作成を進めている対応マニュアル案を提示して確認と助言をお願いした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作っても動かない可能性があるので、マニュアルができたところで是非とも訓練をやっていただきたい。 |
| <p><研究者に健康障害が生じた場合の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎大学病院の感染制御教育センター及び高度救命救急センターと現場を確認しながら打合せを行った(令和5年9月)。今後、両センターと連携して、対応マニュアルの作成を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・針刺し事故等が発生した場合の搬出方法や病院への搬送方法等はまだ検討中だと思うが、教えてほしい。 |
| <p><屋外スピーカーの設置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の地域への情報伝達手段として、前身の協議会でも要望があった屋外スピーカーを設置することになった。設置後には試験放送を実施する予定である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・あってはならないことではあるが、何か有事があった場合に、スピーカーでいち早く知らせてもらえることは、住民としてはとても安心感があるので、本当に良かった。 |
| <p><長崎市の地域防災計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎大学と具体的な協議を開始した。本年度中に開催される長崎市防災会議に向けて、掲載内容案の検討を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の中にBSL-4施設に関わることを記載することは、行政が責任をもって対処するという意思表示であり、大きな一歩であると思う。 |

○令和6年2月13日 第3回

【議題：高度感染症研究センター実験棟に関する報告、長崎市地域防災計画】

| 大学等からの報告等 | 委員からの主な質問・意見 |
|--|---|
| <p><セキュリティ装置の検証></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験棟の厳重なセキュリティ管理を行うために導入している各種装置について、専門業者とともに検証を実施し、これら全ての装置が確実に稼働すること、及び入室の履歴が適正に記録されることを確認した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ等のBSL-4施設と比較してより厳密なセキュリティを構築しているように思うが、世界のBSL-4施設を上回るセキュリティであると認識しているか。 |
| <p><教育訓練の実施></p> <p>①実験終了時の除染消毒(安全キャビネット操作終了時の除染消毒、使用した実験器具等の除染消毒)、②BSL-4実験室退出時の薬液シャワーによる陽圧防護服の除染消毒を反復して実施している。</p> | |
| <p><安全管理規則の制定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会等での意見を踏まえ第42回協議会で説明した検討案を基に学内規則として制定した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・制定されたことを住民に報告したい。住民に迷惑がかからないよう規則に基づき厳しい安全管理を心掛けて運用してほしい。 |

大学等からの報告等

委員からの主な質問・意見

<研究者に健康障害が生じた場合の対応>

・針刺し事故や体調不良者等が生じた場合に必要な対応(応急措置や緊急搬送、病院での措置等)について、長崎大学病院の関係部署のスタッフによる現場見学を行い、対応について説明・検討を行った。

<屋外スピーカーの設置>

・前回報告した屋外スピーカーを昨年12月に設置し、1月25日に音声がどのあたりまで聞こえるか調査するための試験放送(音達調査)を行った。

<長崎市の地域防災計画>

・長崎市地域防災計画の中に、新たに「特定一種病原体等所持施設に係る事故・災害等対策計画」を追加する案を3月開催予定の長崎市防災会議に付議予定である。

・運用開始以降、病院と連携した訓練を定期的に行ってほしい。
 ・実験者が帰宅してから発熱等した場合の対応について教えてほしい。
 ・実験室で実験者が倒れた場合の病院看護師との連携について教えてほしい。

・自宅内にいたが全く聞こえなかった。将来的に防災行政無線や防災メール等との併用を考えてほしい。
 ・内容はわからなくてもBSL-4施設からの放送であることがわかるようにチャイム音や放送内容を工夫してほしい。
 ・放送内容が大学のHPでタイムラグなく直ぐにみられるようにしてほしい。

・やっとここまで来た。3月の防災会議で通るように頑張してほしい。



委員会場



委員会場 (新学長からの挨拶)

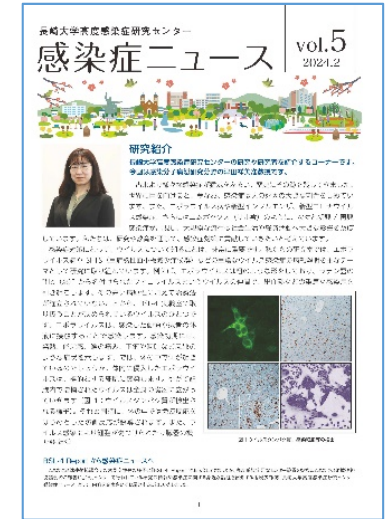


傍聴会場 (一般傍聴者・報道関係者)

地域理解活動（最近の活動状況）

① 刊行物（地域広報誌）

- ・地域連絡協議会での意見交換等の様子をお伝えするとともに、センターに所属する研究者や研究の紹介、感染症に関する身近な話題などを掲載。
（7000部発行、うち4000部は隣接する6自治会の地域にポスティング）



- ・令和5年 6月 感染症ニュースVol.3
- ・令和5年10月 感染症ニュースVol.4
- ・令和6年 2月 感染症ニュースVol.5

② 市民向け公開講座

- ・令和5年7月10日（日）13:00～15:20
市民公開講座：
「ウイルスを追い～感染症アウトブレイクにおける病原体検査の役割～」
講師：黒崎陽平 准教授
オンライン参加 53枠 会場参加 46名
- ・令和6年3月16日（土）14:00～15:30（予定）
市民公開講座：
「感染症と免疫学～感染症克服のための免疫学研究の役割は？～」
講師：川崎拓実 准教授



長崎大学高度感染症研究センター 市民公開講座

感染症と免疫学

感染症克服のための免疫学研究の役割は？ 参加無料
事前登録制

私たちの体にウイルスが感染すると、免疫を引き起こすことがあります。一方で、体の中ではウイルスを排除するため、熱が出る、体がだるくなったたりします。熱が出ることは体の中の防御である「免疫」が働いている証拠です。昨年、私たちはインフルエンザウイルス感染に対する免疫反応について研究成果を発表しました。この講座では、私たちの研究成果をわかりやすくご紹介しながら、免疫学研究の今後の研究活動や研究にまつわるいろいろなお話もしていきたいと思っております。

講師 川崎拓実

名古屋大学大学院医学研究科(博士課程)、神戸大学大学院医学系研究科(博士課程)修了後、New York University、奈良先端科学技術大学院大学等を経て2023年2月より長崎大学高度感染症研究センターの免疫学専攻に着任。生体時計のメカニズムに着目しているのかを明らかにするため、免疫学の視点から研究を行っている。

令和6年

3月16日(土)

14:00～15:30

開催地 会場及びオンライン (ZOOM)

定員 要事前申し込み 定員 30名

オンライン参加 要事前申し込み 定員 150名

申込先 チラシ・ポスターに印刷のQRコードまたはセンターHPから

https://www.ccipd.nagasaki-u.ac.jp/

申し込み 令和6年3月13日 17:00 (申込受付終了)

会場 長崎大学本キャンパス 高度感染症研究センター1階

〒852-8523 長崎県長崎市本町1丁目12番4号

0120-095-819

TEL: 095-800-4306 FAX: 095-800-4301

HP: <http://www.ccipd.nagasaki-u.ac.jp/>

③ 中高生への理解増進活動

- ・令和5年8月20日(日) 13:00～16:00
熱帯医学・新興ウイルス感染症サマースクール
(熱帯医学研究所と共同主催)
講演:「感染症のお薬を造る作るために
—ウイルス研究者ができること—」

講師: 櫻井康晃 助教

研究紹介(ポスター): 平野 港 助教

テーマ:「BSL-4での病原ウイルスとの攻防」

参加 中高生 約30名



- ・令和5年9月15日(金) 14:30～16:00
長崎県立長崎南高等学校 サイエンス講座
「感染症とたたかう ～最高レベルの感染症実験施設とともに～」
講師: 好井健太郎 教授
※講演後、ワールドカフェ形式でグループディスカッションを実施
参加 同校 1年生生徒 約30名



④ 地域イベントへの参加等(会場設営、運営スタッフとして)

- ・令和5年 7月 2日(日) 山里ふれあい七夕まつり
- ・令和5年 8月 5日(土) 平和町商店街夏祭りIN天主公園
- ・令和5年12月 2日(土) 平和と祈りのクリスマスコンサート
- ・令和5年12月17日(日) 山里ふれあいクリスマス会

